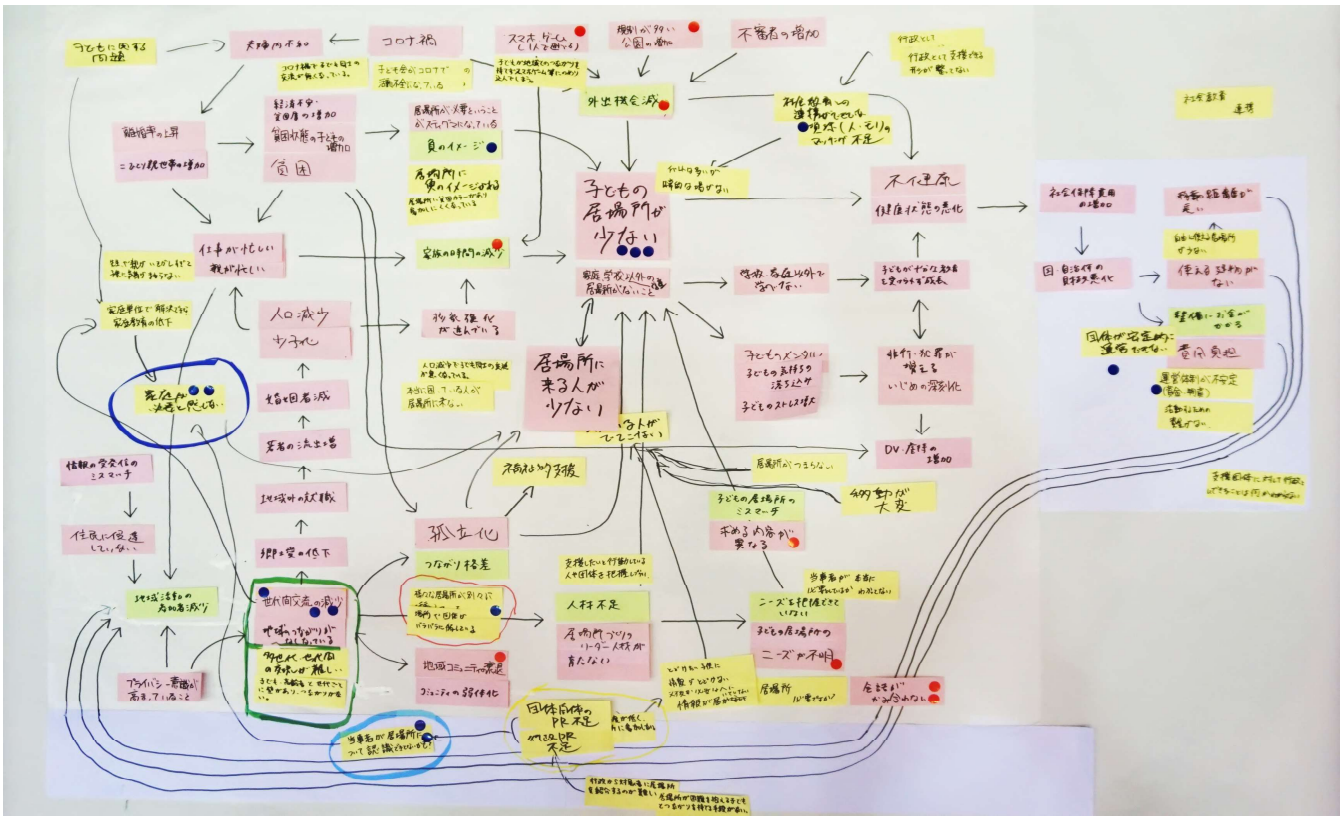
話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

多世代が交流できる居場所づくり	自治体名 県

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 場所や団体がバラバラに活動している

連携を持てていない様々な活動をしている団体が、
子どもの居場所づくりに興味を持ち、おのおのの特性を活かし、
子どもの居場所づくりに取り組むために、何が可能か？

2 子どもの居場所の存在や必要性に気づいていない

子どもの居場所を知らない子育て世代が、
子どもの居場所の活動や取り組みを知ることで、
身近なものとして感じ、参加するために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

居場所と出会えるポイントカード	いつでも（特に市への問い合わせ時、ちょっとおやすみしたい時、団体問い合わせ時、学校じゃない場所に行きたい時）、各団体の拠点や団体を応援している人がいるお店、市役所などで、お子さんのいる世帯や施設の大人、職員・教員などが、居場所となる場所の載ったマップ（ポイントカード付き）と出会える。
居場所と出会えるニュースレター	毎月一回、居場所づくりの団体が活動を紹介するニュースレターをつくる。学校と連携し、子どもたちに周知し、漫画で広報誌を作成し、公民館などの施設に配る。
居場所と出会えるマルシェ	居場所のマルシェを開催する。施設を拠点に活動して交流する。保護者コミュニティ交流会の開催や、子供フライデーや日替わり子供亭など。
居場所同士が出会えるコンシェルジュ	定期的に地域の「各場所」で、社会福祉協議会等の中間支援団体や居場所実施者が、情報交換会の開催を行なったり、ボランティア活動のコンシェルジュを行う。
居場所をつくるためのメニューリスト	居場所づくりをする人や、それを応援したい人、他の団体のために融通できる人・物を登録し、募集する。居場所づくりのために地域資源のメニューリストの作成をしたり、プラットフォームをつくる。

FUTURE